



114
A3002

中三



大正十一年四月
大隈侯爵寄贈

新河津ありて通商口岸に據るに
海軍の進出するに便ありしを以て
日露の戦いより後漸くその地を
公使の官舎として清くしめたる處に
ゆきてその地を英領とすといふ所
外港に通商口岸に據るに便ありしを以て

十



あはれなるやうにわらぬ殿日新に美玉
書紙を反アダハス子紙通一川金と紙
別成通一紙一川所通痛日
多保るるにわらふ都合にまじりる
子通なるは若あはれ書向字はまじり
且席止る席と紙力一紙紙紙紙紙紙
なるなるの別成通なる紙者なる文不
あはれなる大急は紙なるなるなるなる

乃成金中

源年

乃移力有

民部有

ス有有

乃

乃心乃又乃其乃使乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃

Blank lined area for writing on the right page.

心苦くも思ふに此の所由も是れ也
芳純の言や又も入 阿士ワルノカをよしの勝
用事の内なるは此の条もよく及ぶ所なり
古書も其の法向く者も其の如く也

未好と云ふ事あるはツループと云ふこと
回中と稱するは此の如く日くは
少海則と云ふ事あるは此の如く
下と北と云ふ事あるは此の如く
用と高と云ふ事あるは此の如く
此の中と云ふ事あるは此の如く
是と云ふ事あるは此の如く
是と云ふ事あるは此の如く
是と云ふ事あるは此の如く

書と月と
之と云ふ事あるは此の如く
此の中と云ふ事あるは此の如く
是と云ふ事あるは此の如く
是と云ふ事あるは此の如く
是と云ふ事あるは此の如く
是と云ふ事あるは此の如く
是と云ふ事あるは此の如く
是と云ふ事あるは此の如く
是と云ふ事あるは此の如く

少後國の母曰くはしるの事なり之を
抄大之程集と入らむ事なり此の御書
に及我々も文に事なり此の御書も
此の御書も此の御書も此の御書も
此の御書も此の御書も此の御書も
此の御書も此の御書も此の御書も
此の御書も此の御書も此の御書も
此の御書も此の御書も此の御書も
此の御書も此の御書も此の御書も

此の御書も此の御書も此の御書も
此の御書も此の御書も此の御書も
此の御書も此の御書も此の御書も
此の御書も此の御書も此の御書も
此の御書も此の御書も此の御書も
此の御書も此の御書も此の御書も
此の御書も此の御書も此の御書も
此の御書も此の御書も此の御書も
此の御書も此の御書も此の御書も
此の御書も此の御書も此の御書も
此の御書も此の御書も此の御書も
此の御書も此の御書も此の御書も

子供の心は...
 子供の心は...
 子供の心は...
 子供の心は...
 子供の心は...
 子供の心は...
 子供の心は...
 子供の心は...
 子供の心は...
 子供の心は...

子供の心

子供の心

當之と殺アタム又持集書教之由
 高社片掲示之—水由之文宣中
 丁北河是産物税銀并仲授之
 為之関係之故也其在其他高社
 規則 之由之先之殺有持形也一可
 之規則之由之先之殺有持形也一可
 高律 之由之先之殺有持形也一可
 今有是形也之由之先之殺有持形也一可

被是事 之方 出は均大也
全方 誤解 之方 規則 之方
余り 社中 之方 規則 之方
商律 之方 規則 之方 且仕
未外 之方 規則 之方 且仕
其方 規則 之方 且仕
之方 規則 之方 且仕
之方 規則 之方 且仕
之方 規則 之方 且仕

形 之方 規則 之方 且仕
之方 規則 之方 且仕

[Blank lined area for writing]

美云使下の務者にて誰そ書あり
進上る者ありと物あり原只少依
物ありとありと也

市
関元少依

廣務方

150

以子安政事之紀之苗鹿為社規
則一事之旨及有之於社之旨
与社所為之旨也
一義之旨也
一義之旨也
一義之旨也
一義之旨也
一義之旨也
一義之旨也
一義之旨也
一義之旨也
一義之旨也

とるが家より一色に及ぶるに及ぶる
一色に及ぶるに及ぶるに及ぶる
一色に及ぶるに及ぶるに及ぶる

本邦に及ぶるに及ぶる

三條に及ぶるに及ぶる

美多居士

つれづれに及ぶるに及ぶる

布告

夢買取の極一交の布告
一色に及ぶるに及ぶるに及ぶる
一色に及ぶるに及ぶるに及ぶる
一色に及ぶるに及ぶるに及ぶる
一色に及ぶるに及ぶるに及ぶる
一色に及ぶるに及ぶるに及ぶる
一色に及ぶるに及ぶるに及ぶる
一色に及ぶるに及ぶるに及ぶる
一色に及ぶるに及ぶるに及ぶる
一色に及ぶるに及ぶるに及ぶる

夕
秋
卷

吾之通也
其根可謂
子之也

三
水
信
如
應